



かわごえ 議会だより

令和7年11月1日発行



川越市マスコットキャラクター ときも



大会で表彰された市立川越高等学校チアダンス部
(Performance Cheer Grand Final Pom 部門 高校編成 第5位)

令和7年
第4回定例会

令和7年度一般会計補正予算(第3号)を可決 高校生世代へデジタルギフトを支給

定例会の経過

<9月>

1日 議案28件上程
報告5件
4日 議案質疑
5日 議案質疑
9日 議会運営委員会
10日 一般質問
11日 一般質問
12日 一般質問
16日 一般質問 議案1件上程

18日 2 常任委員会
(総務財政・文化教育)
19日 2 常任委員会
(保健福祉・産業建設)
22日 常任委員会 (保健福祉)
29日 請願1件 議案29件 採決
人事案件1件
意見書1件 選挙1件
採決

目次

市長提出議案	(2)~(3)
議案議決結果一覧表	(4)
議案質疑	(5)~(8)
討 論	(8)
一般質問	(9)~(13)
常任委員会	(14)
議会情報	(15)~(16)

市長提出議案

30件の市長提出議案を審議しました。

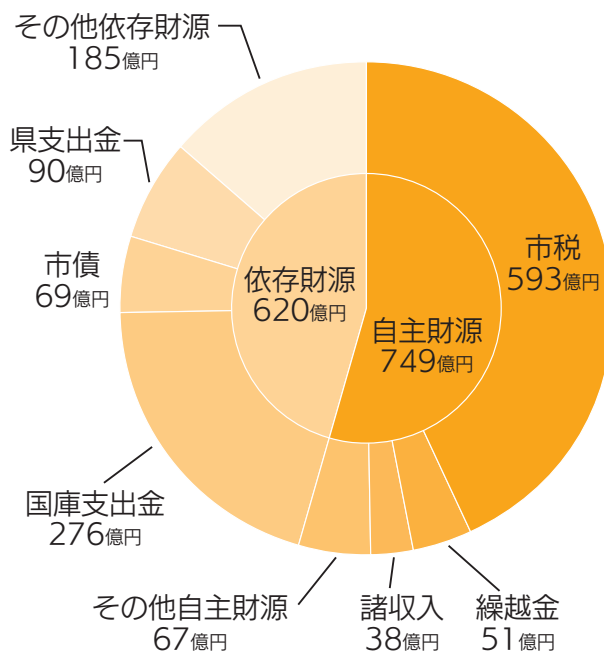
採決の結果は4ページの議決結果一覧表を、各議案への質疑は

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定 | 議案第66号

歳入

1369億4489万3千円

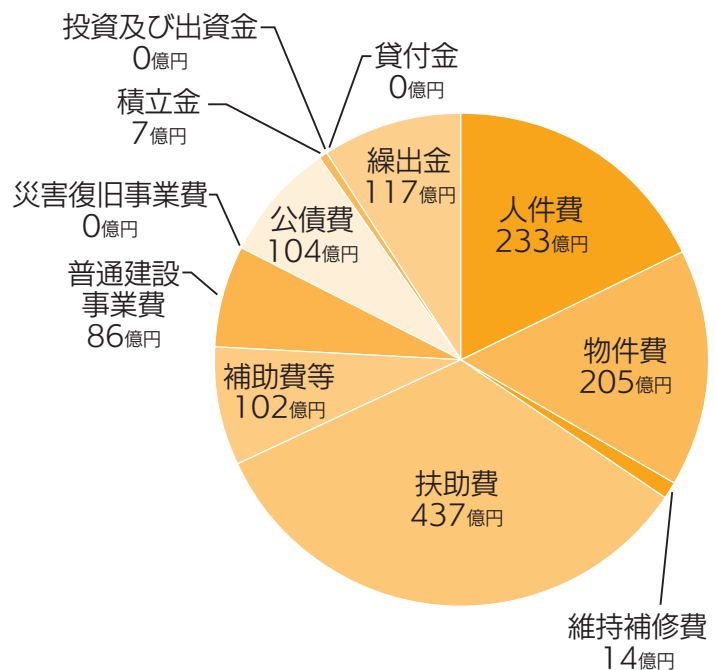
(前年度比47億3298万5千円増)



歳出 (性質別)

1304億6934万9千円

(前年度比33億7269万9千円増)



※計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合がある他、5千万円未満の場合は、0億円と表しています。

主な事業の成果

■物価高騰対応支援給付金事業

定額減税に伴い給付の対象となる人や住民税非課税世帯等への物価高騰重点支援給付金の給付を行った。

■高齢者補聴器購入費補助

認知症予防の一助となる高齢者の耳の聞こえを改善する補聴器について、その利用を促進するため、購入費の補助制度を創設した。

※管理医療機器認定を受けた製品の購入費用について、3万円を上限に助成

■仮称宮元町多目的グラウンド整備

スポーツを通じた健康増進と地域の活性化を推進するため、用地取得と設計業務を行った。

■地域コミュニティ活動拠点の整備

令和7年度の完成を目指し、継続費を設定して仮称霞ヶ関北市民センターの建設工事に着手した。また、仮称芳野市民センターの整備に向け、設計業務を実施した。

■オーバーツーリズム対策

観光客が集中する北部市街地の一部の地域や時間帯において、交通渋滞やマナー違反等による住民の生活への影響や、観光客の満足度の低下への懸念が生じていることから、駐車場の混雑・満空状況の情報環境整備、ごみポイ捨て防止対策の支援、多様な観光拠点への誘客促進等による分散化の推進などの対策を講じた。



仮称宮元町多目的グラウンドの整備イメージ



鍛冶町広場のスマートごみ箱

5～8ページを、討論は8ページをそれぞれご覧ください。

無料低額宿泊所等の設備及び運営に関する基準条例の一部改正 | 議案第80号

改正の趣旨

被保護者等住居・生活サービス提供事業における罰則を見直すため、川越市無料低額宿泊所等の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正しようとするもの。

改正の内容

被保護者等住居・生活サービス提供事業を行う者が事前の届け出をしない場合の罰則に係る規定を追加しようとするもの。

施行期日

令和8年1月1日

新宿町一丁目広場条例

議案第84号

制定の趣旨

川越市新宿町一丁目広場を設置するため、川越市新宿町一丁目広場条例を制定しようとするもの。

制定の内容

次に掲げる事項について定めようとするもの。

- (1) 施設の名称および位置
- (2) 施設において禁止する行為
- (3) 施設における行為の許可、使用料の納付等
- (4) 指定管理者による管理、指定管理者の指定の手続き等
- (5) その他管理および運営に関し必要な事項

施行期日

一部を除き、規則で定める日

令和7年度一般会計補正予算(第3号) | 議案第89号

補正予算額 4億7974万円増
(補正後予算額 1415億2893万2千円)



主な内容

■多機能端末機の導入

証明発行窓口の混雑緩和、待ち時間の短縮、書かない窓口の実現に向けて、市役所（市民課）と川越駅西口連絡所に、住民票の写しや印鑑登録証明書等を発行することができる多機能端末機を設置する。

■病児・病後児保育予約システムの導入

病児・病後児保育室（※）を利用する保護者の利便性の向上等を図るため、WEB予約システムを導入する。（令和8年3月からの稼働開始を予定）

※保護者の勤務の都合等により病気または病気回復期のこどもを一時的に預かる施設で、市内の4施設において業務委託により実施している。

■物価高騰対策事業

物価高騰の影響を踏まえ、高校生世代やひとり親世帯等に対する支援を行う。

①高校生世代へのデジタルギフト支給

高校生世代の学習や通学等の生活を応援するため、市内の高校生世代に1万円分のデジタルギフトを支給する。

【支給対象】市内在住の平成19年4月2日～平成22年4月1日生まれの人

【対象見込数】約9500人

②ひとり親世帯等生活応援支援金給付

低所得のひとり親世帯等に対し、児童1人当たり2万円を給付する。

【支給対象】令和7年10月分の児童扶養手当受給者

【対象見込数】約2000世帯（約3000人）

■公共施設における照明器具のLED照明への切り替え

公共施設の照明器具を蛍光灯からLED照明に切り替えるための改修工事を実施する。

議案議決結果一覧表

今定例会で審議した議案の議決結果は以下のとおりです。

■ 全員一致で可決した議案

議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
請願 3	「訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」の提出を求める請願書	議案 82	川越市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例及び川越市地区計画区域内における建築物の緑化率の最低限度に関する条例の一部を改正する条例
議案 65	令和6年度川越市水道事業の利益の処分	議案 83	川越市なぐわし公園整備運営事業者選定委員会条例
議案 69	令和6年度川越市歯科診療事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 84	川越市新宿町一丁目広場条例
議案 71	令和6年度川越市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 85	川越市公民館設置条例及び川越市公民館使用条例の一部を改正する条例
議案 72	令和6年度川越市川越駅東口公共地下駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 86	川越市議会議員又は川越市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
議案 73	令和6年度川越市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 87	ディーゼルエンジン塵芥車の取得
議案 74	令和6年度川越市水道事業会計決算認定	議案 89	令和7年度川越市一般会計補正予算（第3号）
議案 75	令和6年度川越市公共下水道事業会計決算認定	議案 90	令和7年度川越市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案 76	川越市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	議案 91	令和7年度川越市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
議案 77	川越市税条例の一部を改正する条例	議案 92	令和7年度川越市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）
議案 78	川越市市民センター条例の一部を改正する条例	議案 93	図書館業務用機器の取得
議案 79	川越市印鑑条例の一部を改正する条例	議案 88	なぐわし公園整備事業用地の取得
議案 80	川越市無料低額宿泊所等の設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	意見 2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 〈青木秀夫 氏〉
議案 81	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	意見書 3	訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

* 議長は採決に加わっていません * 議案88は、議案に関係する議員10人は採決に加わっていません

■ 賛否が分かれた議案

○……賛成 ×……反対 △……退席

議案番号	議 案 名	議決結果	会派等の賛否											
			初雁 自由政令会	公明 党議員団	川越 志政会	日本 共産党議員団	川越 政策フォーラム	川越 未来の会	無会派					
									日本 維新の会	れいわ 新選組	無所 属A	無所 属B	無所 属C	無所 属D
			8人	7人	6人	4人	3人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
議案 66	令和6年度川越市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 67	令和6年度川越市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 68	令和6年度川越市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 70	令和6年度川越市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

* 議長は採決に加わっていません

会派別所属議員 ◎：議長 ○：副議長							
初雁自由政令会	江田崇 中原秀文	小島洋一	小林範子	牛窪喜史	海沼秀幸	○小高浩行	吉野郁恵
公明党議員団	須藤直樹	鈴木謙一郎	嶋田弘二	田畑たき子	◎中村文明	桐野忠	小ノ澤哲也
川越志政会	松本さみ	倉嶋真史	糸真美子	中野敏浩	栗原瑞治	吉敷賢一郎	
日本共産党議員団	池浜あけみ	今野英子	柿田有一	川口知子			
川越政策フォーラム	高橋剛	山木綾子	片野広隆				
川越未来の会	加藤みなこ	神田賢志					
無会派	柳沢貴雄（日本維新の会）	小林透（れいわ新選組）	伊藤正子（無所属 A）				
	村山博紀（無所属 B）	川口啓介（無所属 C）	小林薫（無所属 D）				

会派変更のお知らせ

9月9日、村山博紀議員が初雁自由政令会を退会し、無所属議員として活動することになりました。9月30日現在の会派別所属議員は、上記のとおりです。

本会議における 議案質疑

今定例会では延べ22名の議員が質疑を行いました。
採決の際、討論を行った議案には「**討論あり**」と表示し、
その内容は8ページに掲載しました。

議案第66号

討論あり

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定

初雁自由政令会 | 川越未来の会 | 川越志政会 | 無所属
無所属 | 日本共産党

問 令和6年度決算は前市長の実績と捉えることができると思うが、現在の総合計画の施策目標をどのくらい達成できたと考えているのか伺う。

答 101の数値目標のうち、令和6年度実績が令和7年度の目標値を達成したのは28項目、実績値が目標値を達成していないが平成26年度の基準値よりも改善しているのは42項目、実績値が基準値から悪化したのは31項目であり、全体の7割が基準値から改善している。なお、悪化した項目には、新型コロナの影響で事業や施設の利用者が減少したケースなどがある。

問 給食食材費高騰対策について、物価高騰が続いた場合には、今後も継続するのか。

答 学校給食食材費について、今後も引き続き国の動向を注視しつつ、財政当局とも協議した上で、質と量を確保するための対策を講じていく。

問 学校部活動における地域連携の課題は。

答 令和6年度の中学校部活動指導員配置事業の状況は、各中学校長の配置希望に基づき、11校に15名を配置した。今後の課題としては、部活動の意義を十分理解した人材の確保や、人件費等の財源の確保と捉えている。

問 出生数および合計特殊出生率について、直近3年の数値をどのように受け止めているか伺う。

答 本市の出生数と合計特殊出生率は減少傾向にあるため、少子化を喫緊の課題として捉え、こどもまんなか社会の実現に向け施策を推進しなければならないと考えている。

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した給食食材費等高騰対策について実施状況を伺う。

答 令和6年度は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を1億1314万2千円活用し、学校給食における食材費高騰対策を講じている。

問 令和5年度と比較し、市税約6.3億円増の分析は。

答 法人市民税が企業収益の増加等により約6億7千万円、固定資産税および都市計画税が評価替え等により約5億

円増加した。市税は今後もほぼ同水準か緩やかに増加傾向で推移していくと見込んでいる。

問 校内学習室をはじめ、不登校対策について伺う。

答 学びたいと思ったときに学べる環境づくりである校内学習室については、小中学校全校に設置した。今後は、自分の教室に入りづらい児童生徒の支援に向け、専属の支援員を配置できるよう努めていく。

問 年度途中において、不用額が多く見込まれる事業の予算を減額し、必要な事業に再配分する体制を整備することについて、市の考えを伺う。

答 当初予算の編成は、所管課から詳細なヒアリングを通じて事業内容を把握した上で、過去の決算額や執行率などを踏まえ、限られた財源の範囲の中において通年で必要となる予算を配当している。当初予算で見込んだ事業経費に大幅な不用額が生じることが明らかとなった場合には、できる限り予算に基づいた執行となるよう、適切な時期に予算を減額補正することを周知していく。

問 川越市個別施設計画（公共施設編）の進捗は。

答 昨年度までに、建て替え、廃止等の更新が必要な施設28件のうち9件が完了し、性能回復や性能改善を行う改修が必要な施設43件のうち12件が完了した。

問 学校ICT化の課題は。

答 国・県等の動向を注視し、補助金や交付金なども含めた予算を確保することが課題であると認識している。

問 コエトコの地域活性化への効果は。

答 パンじい等のプログラムにより、地域における多様な交流や活動を促進し、にぎわいの創出にも寄与している。

議案第67号

討論あり

令和6年度国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算認定

日本共産党

問 赤字解消・削減計画の取り組みによる赤字額の推移は。

答 過去5年間の法定外繰入金は令和2年度から令和6年度まで順に6億4925万3千円、12億5543万7千円、12億4438万5千円、9億5311万円、11億3127万5千円である。

問 赤字解消・削減計画の今後の進め方は。

答 埼玉県の方針を踏まえ、赤字解消に向けて計画を進めるとともに、制度や税率改定の趣旨の周知に努めていく。

問 特定健診、特定保健指導への対応は。

答 医師会と連携した診療情報提供事業の他、受診率、実施率向上に向け、より効果的な事業を実施していく。

議案第78号

市民センター条例の一部改正

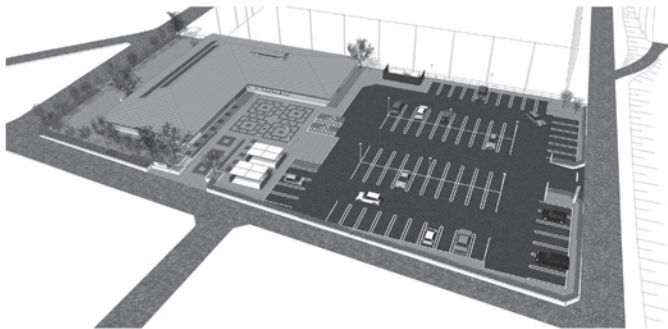
政策フォーラム

問 霞ヶ関北市民センター（旧出張所）の跡地活用について伺いたい。

答 跡地活用については、売却を原則としつつ、当施設の築年数や地元自治会からの要望も踏まえ、川越市公有地利活用指針に基づき、検討を進めていく。

問 仮称霞ヶ関北市民センターの整備に当たり、利用者の公共交通手段の確保に配慮した点について伺う。

答 川越シャトルは11系統に霞ヶ関北市民センター入口バス停を新設するとともに、かわまるは敷地内に乗降場を設置する予定であり、利用者の利便性向上に配慮した。



仮称霞ヶ関北市民センターの整備イメージ

議案第80号

無料低額宿泊所等の設備及び運営に関する基準等条例の一部改正

公明党 | 日本共産党

問 本条例の改正の目的について伺う。

答 社会福祉法の一部改正により、届け出義務違反事業者に対する罰則が創設されたため、本条例で規制する事業者に対しても同様の罰則規定を創設するものである。

問 無料低額宿泊所と被保護者等住居・生活サービス提供事業を行う施設の違いについて伺う。

答 無料低額宿泊所は定員5人以上で入居者の総数に占める被保護者の割合がおおむね50%以上の施設であり、被保護者等住居・生活サービス提供事業を行う施設は無料低額宿泊所に該当しない類似の事業を行う施設である。

問 無届けの事業者に対する罰則の適用までの流れを伺う。

答 市による情報収集や調査の結果、無料低額宿泊所や被保護者等住居・生活サービス提供事業を行う施設に該当すると認められる場合には、無届けの事業者に対して、適切な届け出をするよう口頭および文書による届け出の

勧奨を行うとともに、法や条例に基づく立ち入り調査を行う。それでもなお、届け出を拒否する場合には、罰則の適用について検討していく。

議案第82号

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例及び建築物の緑化率の最低限度に関する条例の一部改正

公明党

問 圏央鶴ヶ島インターチェンジ南側笠幡地区とはどのような地区か伺う。

答 広域交通網へのアクセス性を生かし、日高・鶴ヶ島市域と一体性のある産業拠点の形成を目指す地区である。

問 土地利用による地区周辺への影響についての対策は。

答 地区の大部分が森林で住宅や農地に接するため、交通量増加に応じた適切な道路配置、周辺の日照を確保する建築物等の高さ制限、緑を保全する緑化率を定めている。

問 条例化によりこの地区は今後どのようなようになるのか伺う。

答 周辺環境と調和した産業拠点の形成を図れると考える。

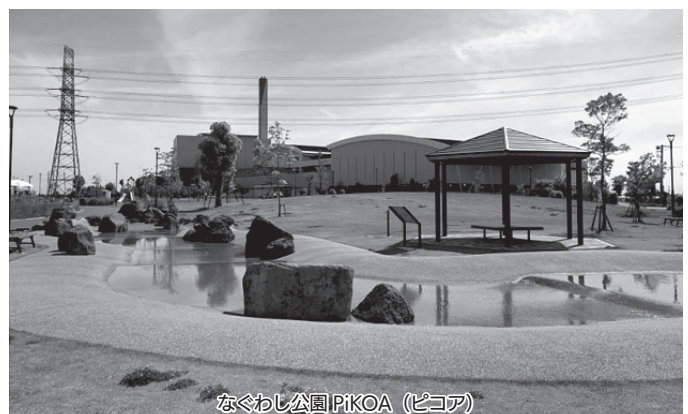
議案第83号

なぐわし公園整備運営事業者選定委員会条例

川越未来の会 | 日本共産党

問 公正かつ適正になぐわし公園整備運営事業者を選定するために、どのようなことを行うのか伺う。

答 P F I 事業における提案内容の審査については、公平性、競争性、透明性を確保するため、なぐわし公園整備運営事業者選定委員会では第三者である学識経験者を委員とするとともに、委員名簿の事前公表を行う。また、事業者選定に係る基準についても、本委員会における審議を経た上で公募時に公開を行うとともに、事業者からの応募書類については、応募者が特定できない状況で審査を行うなどにより、公正かつ適正な事業者選定を行う。



なぐわし公園PIKOA（ピコア）

問 本市初めての現P F I 事業をどう評価しているか。

答 当初目標の達成状況、P F I 手法の効果発揮状況、適切な維持管理等の実施状況の視点から評価を行ったとこ

ろ、本事業の目的は達成されていると評価している。

問 次期事業者選定で重視する点は。

答市の財政負担軽減や地域の活性化、適切な修繕、新たな魅力の創出等を重視して評価することを想定している。

問 利用者からの意見や要望にどう対応するのか。

答利用者ニーズ等に沿った提案を評価するとともに、課題点への改善等が継続的に実施されるように努めていく。

議案第84号

新宿町一丁目広場条例

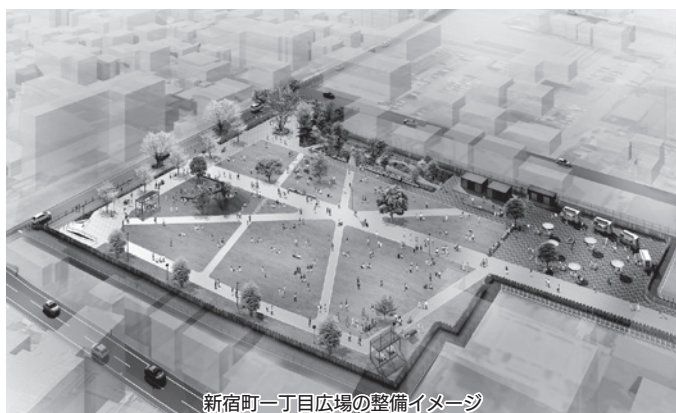
公明党 | 日本共産党

問 立地条件から夜間閉場するとのことだが、どのように行うのか。

答地震時の指定緊急避難場所としての利用を想定していることから、閉場時間中に災害が発生した場合にも、近隣住民や周辺に滞在する人が緊急的に避難できる管理方法とする必要があるため、ボラード（車止め）とチェーンによる簡易な閉鎖を行うなど、夜間の不適切利用を防止しつつ、避難場所としての開放に支障が生じない閉場方法とすることを想定している。

問 にぎわいを創出し、交流人口を増やし、潤いや豊かさが感じられ、いざ災害時に役立つ広場として、市長は市民と事業者と共にどのような取り組みを考えているのか。

答広場は、人口の集中する川越駅西口に立地する貴重なスペースであり、多くの市民に期待されていることから、広場の持っているポテンシャルを最大限に生かすため、積極的な活用が図られるよう民間事業者のノウハウを活用した運営を行うとともに、地域の防災訓練やイベントにも活用してもらうことなどにより、多くの市民に親しまれ、誇れる広場にしていきたいと考える。



新宿町一丁目広場の整備イメージ

議案第85号

公民館設置条例及び公民館使用条例の一部改正

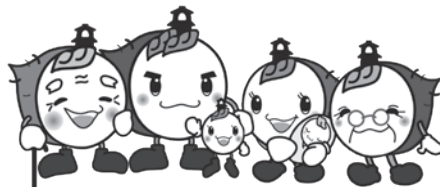
川越志政会 | 無所属

問 新しい施設になることで、長年利用してきたグループの活動に変化が生じることはあるのか。

答新しい施設でも同様の活動ができるものと考えているが、一部の利用者は、距離が遠くなり不便になることも考えられるため、ゆとりある駐車場など、機能面では住民のニーズを取り入れた、より快適な施設を整備している。

問 市民が安心して活動をしていくためにどのような配慮を行っていくのか。

答引き続き利用者の声を丁寧に聞くとともに誰もが気軽に来館でき、利用しやすい環境づくりに取り組んでいく。



問 旧霞ヶ関北公民館跡地の活用は。

答基本構想で方針を定め周知しており、今後も地元住民に情報提供を行い、理解・協力を求めている。

問 施設周辺の交通量の変化に伴う安全対策の考え方は。

答施設オープン後の交通量等を見極めながら、関係部署と連携し、必要に応じて交通安全対策を講じていきたい。

問 こどもの居場所についての工夫はあるのか。

答当日予約の入っていない部屋を、こどもたちが自由に過ごせるスペースとして開放する取り組みを霞ヶ関北公民館の新たな施設においても積極的に推進する。

議案第89号

令和7年度一般会計補正予算(第3号)

初雁自由政令会 | 公明党 | 川越志政会 | 川越未来の会
日本共産党

問 高校生世代に1人1万円を直接給付するデジタルギフトの内容を伺う。

答デジタルギフトとは、オンライン上で商品券、ポイント、電子マネー等を贈ることができるサービスであり、今回の支給では、高校生世代がスマートフォン等で受け取り、例えば、2次元コードやバーコードを提示して利用してもらうことを想定している。

問 学校関連施設のLED照明への切り替えについて、リース契約にすることで市内業者への参入機会等の影響は。

答実作業を行う施工業者はリース会社が手配することになるため、市内業者の参入は難しい面があると考えている。

問 市内業者への配慮は。

答本事業の入札はプロポーザル方式を想定しており、市の独自の採点基準に、施工業者に市内業者を多く含むほど有利になる基準を設けることを検討している。これにより一定程度、市内業者に配慮できるものと考えている。

問 地方交付税の積算に当たって算入される市債の金額は。

答 本補正予算では、元利償還金の50%が交付税措置されるデジタル活用推進事業債について、市民課および川越駅西口連絡所の多機能端末機の導入に対し990万円、元利償還金の30%が交付税措置される脱炭素化推進事業債について、庁舎分室・公用車管理棟の照明器具改修に対し470万円、西後楽会館の照明器具改修に対し360万円、市民聖苑やすらぎのさとの照明器具改修に対し3610万円、西図書館の照明器具改修に対し1190万円の活用をそれぞれ見込んでいる。

問 コンビニエンスストアにおける証明書の取得には、時間の制限があるのか。

答 午前6時30分から午後11時まで利用可能となっており、メンテナンス時を除き年中無休である。

問 デジタルギフトの用途は制限するのか。

答 デジタルギフトの種類によっては、用途を制限することが難しいものもあるが、用途が制限できる場合には、利用者が高校生世代であることを踏まえ、高校生世代の普段の生活における利便性に配慮しながら、居酒屋などに制限をかけるなども検討していきたい。

問 物価高騰対策事業として、市独自の財源での支援策は考えなかったのか伺う。

答 できる限り効果的に事業を実施するための歳出予算額を見込んだところであり、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る本市の交付限度額との差額については、市独自の財源である一般財源を活用した。

問 病児・病後児保育予約システムの導入に至った経緯は。

答 保護者の利用希望に添えない場合も生じている現状があり、多方面でデジタル化が進む中、国の補助金が活用できることも踏まえ、補正予算の計上に至った。

討 論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

議案第66号

令和6年度一般会計歳入歳出決算認定

反対 | 日本共産党

市民要望に沿った18歳までの医療費無償化、高齢者補聴器購入費補助の実現等は評価するが、行財政改革による独自事業の見直しは生活弱者に冷たく、長寿祝い金支給事業も後退した。急速なデジタル化によるシステム改修の事務量の増大や学習者用コンピュータの維持・管理の膨大な費用は大きな課題である。マイナ保険証は問題が多く、紙の保険証を発行すべき。公共工事を順調に進めるには公契約の議論が必要。公共交通の充実を求める。

賛成 | 初雁自由政令会

令和6年度は新型コロナ対応への比重は減ったが、長引く物価高騰対策等の要因を考慮した決算で、歳入は1369億4千万円と前年度より47億3千万円、歳出は1304億7千万円と前年度より33億7千万円それぞれ増加した。

霞ヶ関北市民センター、新宿町一丁目広場、グリーン

ーリズム拠点施設、宮元町多目的グラウンドの整備、オーバーツーリズム対策、高齢者補聴器購入費補助、乳幼児健康診査の充実、部活動の地域連携・地域移行など、前市長の最後の取り組みの成果を引き継ぎ、新市長の下、持続可能な行財政運営を要望し、賛成討論とする。

議案第67号

令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

反対 | 日本共産党

国保加入者は都道府県化以降2万人減り、78%が所得なしか200万円以下。均等割額は7年間で1.5倍。今も赤字は11億円を超え、解消の見通しもない。赤字を被保険者への増税で賄うのは限界を超えている。特定健診受診率や特定保健指導実施率は目標と乖離している。データヘルス計画は増税の条件だったはず。赤字解消は自治体間の平準化や増税ではなく国が財源を投じるべきもの。市民生活を顧み、国保運営を立ち止まって考えるべき。

点字版・音声版議会だより

点字版および音声版の議会だよりも発行しております。送付をご希望の方は議会事務局までご連絡ください。なお、最新の音声版かわごえ議会だよりは川越市議会ホームページでお聞さいいただけます。

今号の音声版は11月下旬ごろアップロード予定です。

音声版かわごえ議会だよりの
音声はこちらから ▶



市政に関する 一般質問

29名の議員が
一般質問を行いました。
質問した議員が選んだ1問を
掲載しています。

会派名	議員氏名	中継映像の 2次元コード
一般質問の表題	質問の 順 番	
問	通告の要約	
答	答弁者	
	答弁の要約	
	通告事項の要約	
質問	※ 2次元コードから各議員の 中継映像がご覧いただけます	



初雁自由政令会 小島 洋一
小中一貫教育校の実現へ 2



問 小中一貫教育校をどのように実現していこうと考えているのか。

答 教育長 将来的な市立小中学校の適正規模および適正配置については、審議会からの答申を得て、教育委員会として策定する基本方針を基に検討を進めていく予定である。小中一体化することは一つの方向性として有効な取り組みだと考えており、小中一貫教育校を実現するには、児童生徒にとって有効であるのかを検討し、児童生徒と保護者のみならず、地域住民の十分な理解と協力を得ながら、地域とともにある学校づくりの視点を大切に、進めていく。

〔関〕これからの小・中学校



川越志政会 松本 きみ
保育士の環境改善 4



問 保育所等における継続的な経営情報の見える化が施設の運営や保育士の処遇改善にどのような効果があるのか。

答 こども未来部長 経営情報の見える化により、各施設の職員配置の状況やモデル給与といった職員給与の状況などが公開されるため、保育士をはじめとした求職者にとっては、勤め先を選択する際の意思決定の助けになるものと考えます。また、経営情報の見える化が進むことで、施設や事業者においても、自らの施設や事業に対する分析と改善が図れるため、保育士の処遇改善にも良い効果を及ぼすものと期待しています。

〔関〕保育士の環境改善



初雁自由政令会 江田 崇
伊佐沼へのアクセス向上策 1



問 にぎわい創出のため、伊佐沼北側のグリーンツーリズム拠点施設と、観光客が多い本丸御殿との間の約2キロメートルが生命線だ。アクセス向上策についての考えは。

答 産業観光部長 本施設最寄りのバス停は、市道0001号線沿いにある川越シャトルのグリーンツーリズム拠点施設前バス停となっている。また、本施設から徒歩で約10分の県道川越上尾線沿いに東武バスの鴨田バス停もある。これらのバスを利用して来場する人は少ないので、バスでも行ける施設であることの周知や分かりやすい案内図等の作成など、公共交通機関を利用したアクセスの認知度向上に向けた取り組みを検討したい。

〔関〕グリーンツーリズム拠点



初雁自由政令会 牛窪 喜史
多機能トイレを補助犬に 3



問 設置が進んでいる多機能トイレを補助犬が利用できるようにすることで、補助犬ユーザーも安心して市の施設を利用できると思うが、市の考えを伺う。

答 福祉部長 多機能トイレは、厚生労働省の補助犬ユーザー受け入れガイドブックにおいても、補助犬の使用を想定しているため、多機能トイレが使用できることについて、補助犬ユーザーや施設管理者等に適切に周知していく。一方、屋外で補助犬の排せつを希望している場合もあるため、補助犬ユーザーの希望に応じた案内となるよう努めていく。

〔関〕補助犬用トイレ

〔関〕本市の夏のイベント



初雁自由政令会 小林 範子
歴史建造物の民間連携活用 5



問 民間事業者が歴史的建造物を整備し、活用することで、地域の活性化につなげられないか、市の考えを伺う。

答 総合政策部長 歴史的建造物と街路等の公共空間が一体となったまちづくりは、歴史的風致の維持向上、にぎわいの創出、地域の魅力向上につながっている。一方、建物所有者は活用策の検討や維持管理が負担となっている。市では歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルによる支援体制を構築した。民間事業者による歴史的建造物の環境整備・活用を行政や金融機関が支援することは、多くの人が集い行き交う魅力あふれるまちづくりを進める上で、効果的な選択肢の一つと認識している。

〔関〕伝建地区周辺の歴史遺産



無所属

小 林 薫

一番街の交通問題について 6



問 5月に行った歩行者天国の試行的実施の結果を受け、市長として、今後一番街の交通問題をどうしていきたいと考えるのか。

答 市長 歩行者天国以外の対策も含めた全体的な視点を持ち、地域にも納得感を得られるような効果的な対策の必要性を感じている。11月に予定している歩行者天国の試行的実施の結果を踏まえ、周辺交通への影響、地域生活や経済活動への影響や効果、歩行者や車両の安全性への効果等をしっかり検証した上で、地域住民の意見を聞きながら、安全・安心な交通環境の形成に向け、必要な対応を検討していきたい。

📍 一番街交通問題

📍 献血推進事業



日本維新の会

柳 沢 貴 雄

動物愛護に関する教育を 7



問 小中学校において、アニマルウェルフェアの視点を踏まえた動物愛護に関する教育を今後どのように進めていくのか。

答 学校教育部長 アニマルウェルフェアについては、生命尊重に関する授業を行ったり、ウサギやカメなどを飼育したりする学校がある中で、学校教育においても大切にしていけるべき考え方であると認識している。今後は、生活科の研修や獣医師による出前授業・訪問指導等においてアニマルウェルフェアについて各学校に情報提供し、アニマルウェルフェアの視点を踏まえた動物愛護に関する教育の推進に努めていく。

📍 人と動物の共生社会



川越志政会

倉 嶋 真 史

学校と教育委員会の関係 8



問 こども、保護者が「安心して学べる、納得できる」ために現状をどのように整理し直す必要があると考えるか。

答 学校教育部長 児童生徒や保護者が安心して納得して教育を受けるためには、学校が児童生徒や保護者の声を真摯に受け止め、より丁寧な説明や情報の提供が必要である。特に児童生徒の安全・安心や公平性等に関わることなど、市全体で統一性が求められる対応については、指針や方向性を示し、各学校の状況を見届け、適切な指導助言をしていく。また、不安や懸念を抱くことが予想される事項等については、教育長メッセージを発出するなど、安心感、納得感のある環境づくりを進めていく。

📍 学校と教育委員会の関係



川越志政会

糸 真 美 子

防犯カメラ等の購入補助を 9



問 新聞によれば川越警察署管内の侵入窃盗は令和7年1月～4月に118件と県内最多だ。防犯対策に各家庭への防犯カメラ設置等の補助制度を導入すべきではないか。

答 市民部長 自宅等への防犯カメラ等の設置については、市民のニーズは高いと考えるが、基本的には各家庭で対応してもらうものと考えているため、補助制度の創設については、財源確保を含め、慎重に対応していく必要があると考えている。



📍 防犯対策

📍 不登校支援の早期拡充



川越志政会

中 野 敏 浩

専用の廃棄用袋の作成 10



問 リチウムイオン電池内蔵の小型家電製品やモバイルバッテリーを安全かつ確実に回収して廃棄するには、専用の廃棄用袋の作成が効果的と考えるが、市の認識を伺う。

答 環境部長 リチウムイオン電池等による火災事故を未然に防ぐためには、排出時の分別意識を高める周知を図ることが最も重要であると認識している。

その中で、リチウムイオン電池等専用の廃棄用袋を作成することは、ごみ分別の意識を高める有効な手段の一つと考えているため、引き続き検討していく。



📍 リチウムイオン電池等



無所属

伊 藤 正 子

こどもたちに屋内遊び場を 11



問 公民館や学校の体育館等を活用し暑さ対策にもなる居場所として、こども未来部と共に遊び場を学区単位で確保する必要があると考える。教育長に市の考えを伺う。

答 教育長 こどもたちが体験活動や交流できる居場所を確保することは、こどもたちの健全な成長を地域社会で支える上でも重要であると考えている。教育委員会としても、所管する各施設が抱える課題を整理・解決しながら、関係部署と連携し、引き続き安全で安心して過ごすことができるこどもの居場所を提供するなどの取り組みを推進していく。

📍 本川越駅周辺の賑わい

📍 こどもの遊びと居場所



公明党

嶋田 弘二

交通安全施設について

12



問カーブミラーについて、老朽化した場合の撤去や更新など、維持管理を適切に行っていくべきと考えるが、市の考えを伺う。

答市民部長 カーブミラーを適切に維持・管理していくことは、市民が安心して道路を利用するために重要であると認識している。

委託による清掃、点検を引き続き実施するとともに、職員が市内を巡回する機会を捉え、修繕が必要なカーブミラーの把握に努める。また、地域住民にも、見づらくなったり破損したりしたカーブミラーを見かけたときは、市に連絡してもらうよう協力を求めている。

交通安全施設



公明党

鈴木 謙一郎

高齢者の安全安心な暮らし

14



問年金のみで生活する単身高齢者も多いと感じるが、生活に困った際の相談はどうすればよいか伺う。

答福祉部長 川越駅西口にある福祉総合相談窓口内の川越市自立相談支援センターでは、就労や住まい、心身の問題など生活や福祉に関するさまざまな相談に対応し、必要に応じて関係機関と連携して支援につなげている。自ら相談に来るのが難しい人には、訪問や支援の同行などアウトリーチによる支援も行っている。



高齢者への支援



公明党

田畑 たき子

視覚障がい者支援について

16



問7倍までズームすることができる網膜投影視覚支援機器を市立の美術館や博物館、川越まつり会館で導入する考えはあるのか伺う。

答福祉部長 障害者が個人で購入する場合に、高額な自己負担が生じる網膜投影視覚支援機器のような支援機器を使用することが見込まれる施設において、支援機器を導入し、来館者へ貸し出しを行うことは、施設の利便性を高めるものと認識している。今後、障害者団体等からの要望や費用面、効果等を総合的に勘案し、施設への導入について関係部署と検討していきたいと考えている。

視覚障がい者支援



公明党

須藤 直樹

マルチスポーツの推進を

13



問民間企業や大学、スポーツ団体などと連携してマルチスポーツの考え方をういた取り組みを推進していくことについて、市はどのように考えているか伺う。

答文化スポーツ部長 民間企業や大学、プロスポーツチームが持つ資源を活用し、多様なスポーツに取り組む機会を創出することは、こどもたちの成長に寄与するものである。こどもたち一人一人の興味に応じた多様な運動の機会を提供することは、将来にわたる健康、スポーツ習慣の定着につながるため、複数のスポーツを同時期に行うマルチスポーツを推進していくことは、有意義なものと考えている。

こどもの体力づくり



公明党

桐野 忠

若い世代への平和の伝承

15



問戦争を体験した人や伝える人が少なくなる中、若い世代・学校での戦争の悲惨さや平和の尊さを伝承していく取り組みについて伺いたい。

答教育長 現在、市内の市立小中学校では、川越市立博物館と連携し、戦争に関する資料の閲覧や学校での出前授業の実践、テレジンを語り継ぐ会in川越による出前授業を行っている。今後は、一般財団法人埼玉県遺族連合会による平和の語り部事業を活用し、戦争体験者の遺族による戦争の体験談等から、児童生徒が平和の尊さについて考えられるよう、関係諸機関との調整を進めていく。

多文化共生

平和施策の充実



公明党

小ノ澤 哲也

契約の方法を変更すべき！

17



問フリーランス法が施行され、発注者である市と会員が直接契約を結び、シルバー人材センターはその間に入りサポートする契約に変えるべきと思うが、市の考えは？

答総務部長 フリーランス法が施行されたことを踏まえ、会員が安心して就業できる環境を確保するためにも、契約形態の変更は必要であると考えている。しかしながら、本市の契約規則や他の民間事業者との業務委託の公平性など調整が必要であり、現在その解決に向けてシルバー人材センターと協議を重ねている。令和8年度以降の契約から円滑に移行できるよう取り組んでいきたい。

子宮頸がんワクチン

市の発注する業務委託

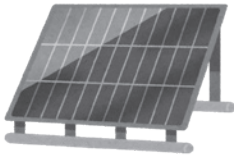


川越未来の会 **加藤 みなこ**
太陽光設備の廃棄について 18



問 太陽光パネル等の製造過程での環境負荷や廃棄などの課題がある中、今後も公共施設に太陽光パネル等をどのように設置していくのか、市長に伺う。

答 市長 これまでと同様に公共施設への太陽光発電設備の導入を進めるとともに、廃棄等に関する課題に対しては、国の動向を注視し、その時々状況に応じて適切に対応していきたい。



☞ リサイクルと廃棄



無所属 **村山 博紀**
観光とオーバーツーリズム 20



問 マナーの悪い観光客増加に伴い、問題となっているオーバーツーリズム対策と半ば相反する観光振興について、本市の観光行政の今後について伺う。

答 市長 本市の観光は、歴史と伝統を大事にしながら、オーバーツーリズムの課題を克服し、地域住民と観光客が共に快適に過ごせるよう、相互理解を深め、良好な関係性を築く、そんな持続可能な観光を目指すべきと考えている。観光振興は市民の生活の質の維持・向上を図ることを念頭において取り組んでいくことが重要であると考えており、取り組んでみたい施策としては、滞在型観光を促進するために宿泊施設を誘致することである。

☞ オーバーツーリズム対策



初雁自由政令会 **吉野 郁恵**
人生100年、心と体の健康 22



問 人生100年時代に向けて、全ての世代の心と体の健康に関する施策について、横断的に推進していくことが重要だと思うが、市長の考えを伺う。

答 市長 人生100年時代と言われる中、人生をいかに健康でその人らしく過ごしていくことができるかは、重要な課題であると認識している。関係団体等と連携・協力しながら、一人一人が健康で生きがいを持ち、日々幸せを感じながら生き生きと安心して暮らせるまちを目指し、それぞれの世代が川越で暮らして良かったと実感してもらえるよう、各施策に積極的に取り組む。

☞ 人生百年時代に向けて



初雁自由政令会 **海沼 秀幸**
小学校の吹奏楽等に協力を 19



問 小学校における合奏、吹奏楽、金管バンド等の活動に対して学校として活動場所や発表の場、指導員等の協力が必要と考えるが、教育委員会の考え方を伺う。

答 学校教育部長 これらの活動を教育活動の一環として捉えることができないことから、教育委員会が具体的に支援を行うことは難しい状況であると考えている。

しかしながら、これらの活動は、こどもたちにとって有益であり、今後の中学校の部活動の地域展開と趣旨は同じと考えるので、保護者や地域住民の思いや願いも踏まえ、地域の外部団体との連携も含めて、具体的な支援の方法について検討していく。

☞ 小学校独自活動の活性化 ☞ 学校給食の廃棄削減対策



川越志政会 **栗原 瑞治**
投票率の向上 21



問 民間施設の管理者や事業所と協議をして、自治会館や商業施設等への当日投票所や期日前投票所の増設の働き掛けをすべきと考えるが、市の考えは。

答 選挙管理委員会事務局長 当日投票所まで遠距離になる投票区や期日前投票所設置場所の不均衡の課題については、優先的に取り組みたいと考える。また、各投票区固有の課題についても市全体のバランスを考慮しつつ、地域の要望も聞きながら対策を講じるなど、投票所の増設を含めた投票環境の整備により、投票率の向上に寄与していきたいと考える。

☞ 投票率の向上



政策フォーラム **高橋 剛**
荒川洪水の越水対策を急げ 23



問 古谷地区の荒川右岸堤防かさ上げ未了区間の整備については、越水防止対策を含め国に対して強く要望すべきと考えるが、市長の認識は。

答 市長 堤防整備の完了までの間、越水等による沿川地域の浸水被害を危惧している。国において本区間の一部の堤防整備を行っているが、引き続き国の取り組みを注視しながら、本市に関わる対策の具体的な内容に関する要望について機会を捉えて国に働き掛けていきたい。

また、事業を所管している河川管理者の国土交通省荒川上流河川事務所と連携し、水防活動を強化するなど、災害防止活動に努めていく。

☞ 最低賃金の改定

☞ 荒川堤防の嵩上げ



無所属

川 口 啓 介

学校施設修繕予算が不十分 24



問 学校施設の老朽化が進行しており、修繕や改修工事の予算が不十分と考える。市長の見解を伺う。

答 市長 学校施設については、5月に外壁落下が発生した東中学校をはじめ、いくつかの学校を視察して老朽化の状況を確認した。また、市民からもさまざまな改修の要望をもらっており、施設の修繕や改修工事の予算は学校環境改善等のために重要であると認識している。これまでも限りある財源の中で適切な予算配分に努めてきたが、今後はこのたびの東中学校の事案を踏まえ、しっかりと学校施設の整備予算を編成するよう努めていく。

☞ 学校施設修繕の考え方

☞ 伊佐沼周辺整備の考え方



日本共産党

池 浜 あ け み

中小企業賃金引き上げ支援 26



問 今年度の全国の最低賃金は1121円、埼玉県は1141円となったが、国の支援策は周知不足、埼玉県の直接支援はない。事業者との意見交換で把握した中小企業の状況は。

答 産業観光部長 意見交換では、主な経営課題として、昨年に引き続き、物価高騰の影響による人件費の高騰や人材確保といった意見の他に米国における関税の影響やITの活用等に関する意見があった。市が行っている景気動向調査では、賃上げを実施していないが39.5%で最も高く、次に、定期昇給を実施したが28.6%、ベースアップを実施したが20.0%という回答となっている。

☞ 最低賃金引き上げの支援 ☞ 産後ケアの充実

☞ 学習障害への対応



日本共産党

川 口 知 子

生活保護への偏見なくせ！ 28



問 偏見や差別を払拭するために「生活保護は国民の権利です」と市民に周知してほしいが、市の考えを伺う。

答 福祉部長 市としても、生活保護の申請は国民の権利であることを生活保護のしおりに明示して生活福祉課の窓口や市民センターに配架するとともにホームページにも掲載していますが、今後も広く周知できるよう努めていきたい。



☞ 生活保護行政の改善

☞ 困難を抱えた女性支援

☞ 久保川の河川改修



れいわ新選組

小 林 透

学校給食について 25



問 今後の学校給食を充実したものにするための市の考えを伺う。

答 学校教育部長 栄養教諭や栄養士が給食の時間に学校を訪問し、児童生徒と食材の話や食事の重要性、大切さなどの食育指導を実施している。また、体育科や家庭科、特別活動の時間に生活習慣の育成や食生活に関する指導を行うなど、学校教育活動全体で食育を推進している。

質と量の確保を前提として、児童生徒にさまざまな機会を捉え、給食についての思いや希望を聞くとともに、他市の給食内容も調査研究し、給食の充実につなげていきたいと考えている。

☞ 学校給食

☞ 外来生物による作物被害



日本共産党

今 野 英 子

公共交通の利便性の向上を 27



問 川越シャトルやかわまるの拡充を求める声が多くある。市民が公共交通等を利用することで、環境負荷の軽減につながると考えるが、利便性の向上について市の見解は。

答 都市計画部長 公共交通を中心とした集約型都市構造の形成を推進することにより、温室効果ガス排出量の削減が図られ、環境負荷の軽減に資するものと考えている。一方、燃料価格の高騰や運転手不足など、公共交通を取り巻く環境が厳しさを増していることから、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、川越市総合交通計画の策定を進めており、交通ネットワークの充実や利便性向上の観点も踏まえながら関係団体等と議論を進めていきたい。

☞ 人と環境にやさしい街

☞ 就学援助の拡充



日本共産党

柿 田 有 一

農業生産を増やす取り組み 29



問 コメ不足が叫ばれる中、国の政策の影響で農業産出額は本市でも減少している。市長は学校給食に意欲があり税も投入されるが、農業に力を入れて取り組むか。

答 市長 農業は、本市の重要な産業の一つであり、将来にわたって発展させていきたいと考えている。農業者支援として肥料価格購入に対する支援を新たに実施しているが、担い手の育成・確保や生産性の向上、地産地消、付加価値の向上など農業施策にも力を入れて取り組んでいく。また、川越産農産物を学校給食で活用することについては、食育の視点からも重要であるため、地産地消の方策としても進めていきたいと考えている。

☞ 持続可能な農業と食

☞ DXと市の事務、委託

常任委員会

今定例会において開催した常任委員会の審査の状況について紹介します。

今定例会では、請願1件、議案29件が、それぞれ所管する常任委員会に付託され、審査しました。

総務財政常任委員会

総務財政常任委員会では、事件案6件、予算案1件、計7件の議案を審査しました。議案第66号令和6年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、財政や行政デジタル化、結婚相談所、投票率向上などについて各委員からさまざまな質疑があり、審査の結果、賛成多数で認定しました。その他、職員の育児休業取得の改善や印鑑登録証明書の利便性の向上、多機能端末機の導入などに係る補正予算を含む6件の議案について、審査の結果、原案のとおり可決しました。



文化教育常任委員会

文化教育常任委員会では、事件案3件、予算案1件、計4件の議案を審査しました。

議案第66号令和6年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、学校体育施設の開放、オールマイティーチャー配置事業、校舎の点検や大規模改修事業等について種々質疑があり、審査の結果、認定しました。

また、その他3件の議案についても、審査の結果、原案のとおり可決しました。



保健福祉常任委員会

保健福祉常任委員会では、請願1件、事件案9件、予算案2件の議案を2日間で審査しました。

議案第89号令和7年度川越市一般会計補正予算（第3号）の所管部分の審査において、病児・病後児保育予約システムの導入、高校生世代へのデジタルギフト支給、西後楽会館の照明器具改修等についての質疑がありました。審査の結果、同議案は原案のとおり可決しました。

その他、請願1件と議案10件については、審査の結果、採択、認定または原案のとおり可決しました。



産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、令和6年度決算認定5件、令和7年度補正予算3件など計13件の議案を審査しました。事業の進め方、予算の使い方をチェックする決算審査では、企業誘致等の産業振興事業、オーバーツーリズム対策や小江戸川越花火大会等の観光事業、市内循環バスやデマンド型交通の運行事業などについて活発な議論を行いました。審査の結果、令和6年度一般会計歳入歳出決算認定の所管部分については賛成多数で認定し、他の議案についても認定または原案のとおり可決しました。



議会情報

川越市議会に関する情報をお知らせします。

請願・意見書

今定例会で1件の請願書が提出され、審議の結果、採択されました。
また、今定例会の最終日に、議員から意見書案が提出され、原案可決となりました。
意見書の内容は以下のとおりです。

「訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書」の提出を求める請願書

— 採 択 —

提出者 川越市社会保障推進協議会 会長 守屋 裕子 ほか227人
川越市小仙波町3-15-5 川越・東松山民主商工会内

訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

下記の意見書を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣宛てに送付しました。

3年に一度の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬が昨年4月から引き下げられた。介護報酬は介護保険から介護事業所に支払われるが、今回の引下げで訪問介護事業所、とりわけ小規模・零細事業所が経営難に陥り、在宅介護の基盤が壊滅的になるおそれがある。2024年度に廃業した訪問介護事業所は、埼玉県内で82件、川越市では5件となり、ほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所である。

厚生労働省は引下げの理由として、訪問介護の利益率が他の介護サービスより高いことを挙げているが、これはヘルパーが効率的に訪問できる高齢者の集合住宅併設型の事業所や都市部の大手事業所が利益率の平均値を引き上げているものであり、実態からかけ離れている。

訪問介護は特に人手不足が深刻である。介護報酬が引き下げられた結果、ヘルパーの給与は常勤でも全産業平均を大幅に下回る。

政府は、2024年度の介護報酬改定で2.5%、2025年度に2.0%のベースアップにつながるよう加算率の引上げ等行ったとしているが、他産業の賃上げ率を考えれば政府の処遇改善案は不十分である。また、埼玉県の特定最低賃金の上昇も含めた支援策が必要であることは明らかである。このままでは介護人材の確保はますます困難になるだけである。

訪問介護事業者の経営の持続や介護を必要としている市民の安心のため、財源確保を図り、訪問介護の基本報酬引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年9月29日

川 越 市 議 会

本会議の様子は 以下の方法でもご覧いただけます

■ インターネット中継 ライブ/録画



川越市議会ホームページ

インターネット中継は
こちらから ▶



■ 会議録 今定例会分は11月下旬ごろから



川越市議会ホームページ

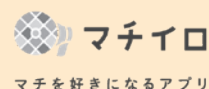
川越市立図書館など

会議録の閲覧はこちら ▶



広報紙配信アプリ 「マチイロ」について

かわごえ議会だよりは、
市議会ホームページの他、
広報紙配信アプリ「マチイロ」を用いて、
スマートフォンやタブレット端末からも
ご覧いただけます。



マチを好きになるアプリ

川越市のさまざまな情報も見られますので、
ぜひご活用ください。

アプリのダウンロードはこちら ▶



みんなで守ろう「三ない運動」

**議員は有権者に
寄付を贈らない！**

**有権者は議員に
寄付を求めない！**

**有権者は議員からの
寄付を受け取らない！**

公職選挙法により、議員の寄付行為は禁止されています。市民の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いします。
例えば、次のような寄付が禁止されています。

- 地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ、お祭りへの寄付や差し入れ
- 自治会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ、落成式・開店祝いの花輪
- 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い・香典、入学祝い・卒業祝い、病気見舞い、葬式の花輪・供花



文化教育常任委員会

9月16日に江田崇副委員長から副委員長の辞任願が提出され、18日、これを許可し、同日、副委員長の互選を行った結果、鈴木謙一郎委員が副委員長に選出されました。また、9月18日に村山博紀委員長から委員長の辞任願が提出され、同日、これを許可し、委員長の互選を行った結果、中野敏浩委員が委員長に選出されました。

消防組合議会議員

1名の欠員が生じたため、9月29日に選挙を行った結果、高橋剛議員が当選しました。

議場コンサート

9月1日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、E&Y Piano Duoの浅野衣美さん、濱崎洋子さんにより、『ハンガリー舞曲第5番』『リベルタンゴ』『川の流れるように』の3曲を演奏していただき、議場を盛り上げていただきました。



議場で演奏を行ったE&Y Piano Duo
浅野衣美さん(写真左)と濱崎洋子さん

編集後記

記録に残る猛暑を越えての9月議会となりました。広報紙編集委員会では、6月からの新メンバーで、市民の皆さまに、議会が分かりやすく、親しみやすくなるように議会だよりはどうあるべきかを話し合っています。今号は令和6年度の決算などの記事を掲載しています。川口知子委員長をはじめ委員一同、見やすさと内容の充実のバランスを考えながら、引き続き、任期中に取り組みたい企画の検討を進め、紙面の充実に努めてまいります。(小林 範子)